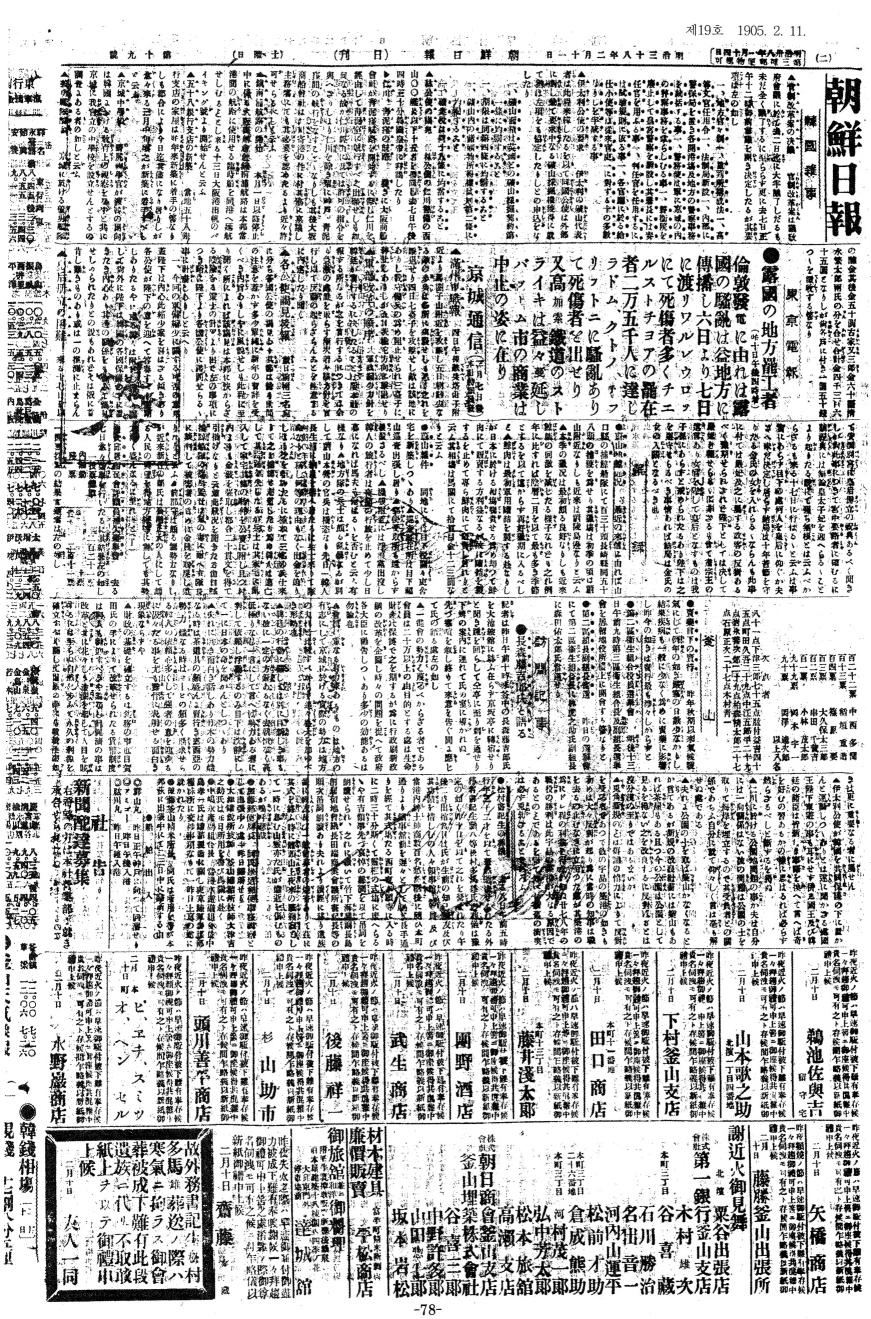


. 470 · .



W.

当にない。

位

七游地

12

411

事があるのだし、から舞音奏をかける

**休**∄を廢し木曜日 発配全般月曜日の を以て休刊日と 探行り CONTRACTOR IN \*XXXX 世の手なる 成果機関で、ほの

の男は挟れる起き上れる

甲見那のうちれるの御里りせずな

高。0 延載 延載

削して

こ人のみ参

りし対所の前 仕合せのとなりを開け、成なくに、我店町客屋の船の

北市町客屋の船ゆるとなしとはラモサれたのででは、他のでは、一番の場では、大きないでは、一番の場の地に進み十六

るかってした、今度は大行な

岸の入り来るを見て家の内に影轉びし

新ひたるを近傍の人の注意するものが 外の端にのみ飾り居ると見る、岸の生

山の神は正達に鎮密さしくっ大のかりは、近次に強いないというに、東角のいろの五郎

H

何はつて作品さん、先け

動は充分の監視をして居る者があると

一好く造つたけれるも、此文けちや何に

くちやならないです。それで見れ四番米何にもなられから、僕は 一度出かけな

何にもなられなら、僕は

内でイヤ、一ツの半升だ」

T.

既の分は皆る期名の中

は、それは只の場矢界で銀世規則の開金とでせらか」

丁早稲田はどうなるですかい

るのを待り必要があるこ

私費下の方にある二万五千七加ゆれば

安開さしてはわられないのは」

でれる風出る位本ら便は今此處。 斯ラーなからしょたととまって、

奴等は原用をしながかせう

| 地に成て今時の日を選が所とし標を整へ事本関析を経難所とし標

成る程

なないで、そうすれば独の影響

帝國義仍艦隊發軍 中田梁次郎遵守 要用英次節發發 洋吸出立ちにこれ

ら用途しばや単しるなけを装の値出版さ

柳井江

一型前後ならんといる類は信相には何等の

防夫の一人が猛火の間に屋上に立ち必死消解除したる為に保険的は繋まするを得さい夫の一人が猛火の間に屋上に立ち必死消解除したる為に保険的は対してるない。 大坂田身でばかり名を逸せしは遺解なり消点にては過ぎに一日前に後に

大めし補助夫の人類りて強くを取れた。

東地と有名が野野のと野にして地震はいる。 はいまる。」の歌で映画もの歌歌のの野野水の中の画の神郷が以れる。

帝國戰勞艦隊發金

単二元 七四カ七

小天縣成 井 男安山歌 **፞**ጟጟጟጟ **第二人**0 七九七七 0.73 **华新**馬芙 **村津**毛工 AXXL 力力的五

- /A.F. 黃溜永深 調動的角 五元四度 -00 / 100 /

**大新货** ቪኧጲኒ OF TO が発達する 省勿笔三(

-00 五二五四

七次なないのロニーバ ● 釜川天 東 湾南

北又西ノ風情後雲、

手手

「日世ノクヨル

居る 人の後懐年にて 風を出人

権政士ル

廣告

レケナヲシ

ial V

のに即座候間御希望の御方の御婦で対所候處今回愈々發明實行住院とつ致所候處今回愈々發明實行住院とは御禮申上候練光私義改良白毛袋のは一個禮申上候練光本音様の御引立る預算 髪店方へどん~~御光火之程を問いず、雨天晝夜の嫌ぎく、本に 赤百 £ 良/ 染染白 染

ルノ微意

本町室丁田の角伊戸埋まれ御婦人様で、男子方を して衛生上無害のも、 梁發明には数年む背 增業品致候事深

LIDA 0 OSA E E

, desi

[日日七月一年七升治月] (四) 麗 九 十 節 (日 曜 土) (刑 日一十月二年八十三治明 朝 リ大上願就增弊其 以韓農洋筑播 上人具食務州 ラテ 7 ケ右 南灰候=ヲ以店他漆香黃毛 ズハ汎ノー 可ハ 人市 何倫ク通スエニ上恭 學場蓋切毛特素大 石寸 油 少 一願リベヤルニ流 ŀ 理 ニ附他テ金韓 赴位置類洗 二層客當了一中面鹽 店町橋 共二 精 火人類雨並 · 安全 秦 鰶 モス諸阴波取下五線業 白米 藤本 ラ 勉彦ハ 米小 自石機和 印度 **鲁勉段要式** 候伸雖寸各分廣 ヲ非 ノ强辱顧 何米心。"目 取 式血 Щ. 自質 御仕クニ 石を取り類和な 油ん 是 如 Pan , 质 願ァ顧迅 雷 ラ文 一份。 引益器ョ 即取次半御相 候管ヲ速 平以被 + 男 デ 告 村 立々謝り 也業蒙卜 町テ成 m M 紙類類 プ御仕テ 太 电压出 費 南 販下 仕リ非 店 希爱候日 號 談 = 岡賣候 リッ常 委为石二 多小依存 仕 候べる。 屋問服吳小應 應らば 三京収 朓家 候ハ 於的吸賣店 條有勉 - 速果石 手贩。 浪釜拔强勉望量 边特般服 大日 1 ※は 旅 はは 風新 米 多之強 古本 河沿親加 少候小 光築 係⋆ O 本 高二年 名 店 係付依 AI IC 仰宜强製 19 販 育被相以地 英月 席 屋 H. 可介 4 廣 下計でと 度り顧特 吉蓋偏可容約 1.00 支 倉 目丁三町西 耶 店 候何注品 商場 慶慶京 迎龍 安 長門 3 丸 丸 丸丸丸丸 釜 初年 出話 闹 22 全 全 ih 二月十二日 可任英 ## 一二月 一月月 十月日 日日 日日 日日 日日 月月 批告廣 月月十 回 二月七三日 八十 HH H HH n H B 稻个大 藤回漕ぎ 送が八十一日 河漕店 酒部 陸

京 D. 康康

**建草**印 換架名

七百行

100 to 10

-ao

の記述

計本條實

本種調

**墨森川** 

9回門列 第3~10 たた六

1.00 pt. 

がまる。 サニー語 一四三九

\*\*\*

±=8

ふるも 一〇五 五三〇

韓國釜山常平町支局一一終銷[をちに]

舍

明治三拾八年或月一日 版 下村 釜·

山

支

店

風

和醫安妙

神神 一月柳霊楽館 一月柳霊楽館

秀



節壹回降時販賣廣告

弊店は時局且鑑み左の方法を以て来る二日より紀元節まで向十日に要数で登録をである。 受上金の内閣信を控除し利益の全部と近天市より紀元節まで向けまである。 ○政治送以上の資品に関いましまに頭端顕末被下度廣告候也 ○政治送以上の資品に関いましま品と近年で、 ○景品は顕來店の上海一覧被下度候 ○景品は顕來店の上海一覧被下度候 花間

の物運送管業

らぶ天京東 會席 出 其外 進奮 可仕候 安庭 - 御調 外御注文次 し當 店支わさと京東 目丁四町西山釜 角リ是筋町屋治鍜

わき E -81-

奉可一丁目長手通山口新聞舖 **國安商店** 牛純 迅乳良健 速 康 \*

出 張 所 同、同番海倉
本店所年地 晋州城内 中华 本店
安居所在地 晋州城内 中华 本店
日 張 所 同、同番海倉
本店所年地 晋州城内 中华 本店
日 張 所 同、同番海倉
本店 中华 本店

唐津石炭

萬

明 報別大問引 三拾錢

大坂毎日新聞

四かり月代

**北生肉科型院** 

野 擦米廉價販賣

声店

配(建筑) 发生

合 齊藤商品 伊藤市今回左記名 「伊藤賞仕候間多名 「伊藤賞」 日赤さ~~ 多少二不保御往久之程冀望住住在建建货卸小货商明来特别廉 件釘各種丁 洋鉄各種

九第

號十

見るさななく

一年に休みれても見るず流石を上午の日のはは流れてりず墨

大きな ままれる 大きな 大きな ない から放つ可ら時は来ぬ

は寂しけながら一人の軽さを添へたり香はに風情にも辞出の峰も今日は煙を帯びたれ に風情できぬ山の崎も今日は煙を飛びたれの如く雨や野時に休みれても見えず流石

聞け勇士しの肚夫が 草むす風な風の高め かずくかばは君の高め

韓國一下

世話者號一四四

支藤齋

月

堂